

2025 年 12 月 1 日

報道関係各位

3年に一度の建築文化の祭典『ひろしま国際建築祭 2025』 来場者数延べ 20 万人超え。次回開催は 2028 年秋。

建築を身近に感じ、建築と共に未来を考える、瀬戸内を舞台にした建築祭は
11 月 30 日（日）、58 日間の会期を終了いたしました。

一般財団法人神原・ツネイシ文化財団（広島県福山市 代表者：代表理事 神原勝成）主催の建築文化の祭典『ひろしま国際建築祭 2025』（以下、建築祭）は、延べ 20 万人の来場者を迎え、閉幕いたしました。建築祭の開催にあたり、ご助言・ご協力くださった所蔵者、機関、個人ならびにボランティアの方々、そして参加建築家・作家の多大なるご協力、ご支援を賜り心より御礼申し上げます。

本建築祭は 2025 年 10 月 4 日（土）から 11 月 30 日（日）までの 58 日間にわたり、総勢 23 組の出展建築家・作家を迎え、広島県福山市・尾道市の寺院、美術館、ホテルなど 7 つの会場で開催いたしました。今後も 3 年に一度行う祭典として、次回開催は、2028 年秋を予定しております。

来年 2026 年初旬には建築祭の公式カタログと尾道市立美術館で開催した「ナイン・ヴィジョンズ | 日本から世界へ跳躍する 9 人の建築家」の公式書籍を発刊します。ご期待ください。



「ナイン・ヴィジョンズ | 日本から世界へ跳躍する 9 人の建築家」展 photo by Tatsuya Tabii

『つなぐー「建築」で感じる、私たちの“新しい未来”』をテーマに、初開催した建築祭では瀬戸内を舞台に「建築」と身近に触れ合い、「建築」と共に未来の社会を考える契機となりました。建築祭でさらに専門知識を深めた方から、新たな発見との出会いを楽しまれた方まで、さまざまな来場者が会場をめぐり、堪能していただけたことと思います。



キオスク「つばや」堀部安嗣 photo by Tatsuki Katayama



「ZINE」から見る日本建築の Now and Then photo by Tatsuya Tabii



子どもの五感を刺激するイベント「Catch the Fall | 建築、音楽、ごはん」
photo by Kazuya Takagi



「ストックヤード/遊び場」川島範久 photo by Tatsuki Katayama



伊東豊雄 トークイベント photo by Tatsuya Tabii



藤本壮介 会場にて photo by Yoshikuni Shirai

出展建築家・作家からも、瀬戸内で建築祭を継続実施することへの意義、期待の言葉も寄せられ、次回開催の2028年秋には展示と共に、名建築の再現や、建築をめぐるツアーも実施し、さらなる建築文化振興による社会貢献をめざします。

出展建築家からのメッセージ

さまざまな企画が盛り込まれて
素晴らしい建築展でした。
アソビ賞受賞者の展示は各建築家の
個性がはつきりと出ていて興味深く
拝見しました。
丹下 邦の復原も楽しみでした。
主催者、ウェルカムの方々大変よく
是非続けたいと思います。楽しみにして
おりました。

Toyo Ito

伊東豊雄

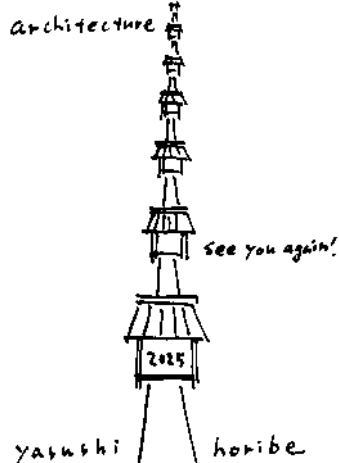
神原・ツネイシ文化財団の
皆さま
京都工芸繊維大学デザインラボ
の皆さま
「地域・社会・国主義」が分かり易く
説明していたらいいですね。ありがた
うございます。
OHMICHU U2のデザイン
カネのグラフィックはいいですね。

山本理顕

山本理顕

あ り が と う
ご じ ゃ い ます。
せ い ま け り ま す
あ い たい ます

SANAA 妹島和世・西沢立衛



堀部安嗣

3年後の頃
次何やるか
も考え始めます。
また是非参加
させていただきます。
Team LLOVE

Team LLOVE 長坂常



中山英之

時間と空間を越えて建築の思考が
交わる場に参加でき、多くのエピソードを頂きました。
名画の今後は未来への対話を
益々生かす事を楽しみにしております。

Clouds AO

Clouds Architecture Office

総合ディレクター・白井良邦からのメッセージ

展示やインスタレーションを通じ、建築文化を発信するという日本初の新しいスタイルの文化イベント〈ひろしま国際建築祭〉を、お楽しみいただけましたでしょうか。

次回は3年後に開催予定ですが、閉幕と同時に2028年の開催に向け、既に企画が動き出しています。

3年後の第2回目には建築家・丹下健三の自邸「成城の家」の再現をはじめ、いくつかの新しい建築もお目見えする予定です。今後も〈ひろしま国際建築祭〉にご期待ください。

チーフキュレーター・前田尚武からのメッセージ

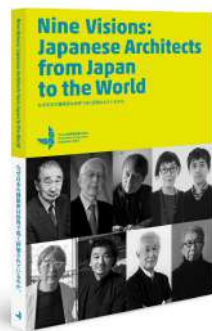
〈ひろしま国際建築祭〉は、日本を代表する建築家から、次世代を担う世代まで、多様な思索と実践が響き合う場として走り抜けました。訪れて頂いた多くの皆さまには、建築文化の奥深さと、その可能性の広がりを体感いただけたのではないのでしょうか。私たちは、この建築祭を地域と建築文化をつなぎ、未来のまちと暮らしを考える継続的な対話の場として育てていきます。この地に息づく歴史と風景のなか、建築がいかに人々の暮らしを豊かにし得るのか—その問いを、これからも皆さまと共に深めてゆきたいと思います。次回は3年後、2028年秋。新たな試みと共に、再びこの地でお会いできることを心より楽しみにしております。

『ひろしま国際建築祭 2025』公式書籍

◎「ナイン・ヴィジョンズ | 日本から世界へ跳躍する9人の建築家」公式書籍 / 2026年1月中旬発刊予定

Nine Visions: Japanese Architects from Japan to the World

なぜ日本の建築家は世界で高く評価されているのか。



ブリツカー建築賞を受賞した9名の日本人建築家の思想と実績を、国際的視点から読み解き、各建築家の代表的な建築作品、建築家解説、展示解説をまとめた展覧会公式書籍です。※日英併記

タイトル：Nine Visions: Japanese Architects from Japan to the World

なぜ日本の建築家は世界で高く評価されているのか。

仕様：B5変形判（178x257mm）、200頁

発行予定：2026年1月中旬

価格：3,800円（税込）

ISBN：978-4-7692-6002-8

発行：Echelle-1 合同会社

◎『ひろしま国際建築祭 2025』公式カタログ / 2026年2月下旬発刊予定

Architecture: A New Stance for Tomorrow

「建築」で未来は切り拓けるのか？



世界を舞台に活躍する巨匠から未来を担う若手建築家まで。彼らのドローイング、模型展示紹介やその解説、建築家からのメッセージ、展示会関係者へのインタビューなど、この建築展全体を網羅した1冊。※日英併記

タイトル：Architecture: A New Stance for Tomorrow

「建築」で未来は切り拓けるのか？

仕様：B5変形判（178x257mm）、200頁

発行予定：2026年2月下旬

価格：3,500円（税込）

ISBN：978-4-7692-6001-1

発行：Echelle-1 合同会社

<ひろしま国際建築祭>とは

一般財団法人神原・ツネイシ文化財団が「建築」で未来の街をつくり、こどもの感性を磨き、地域を活性化させ、地域の“名建築”を未来に残すことをミッションとして掲げ、3年に1度開催する建築文化を発信する祭典で、現在日本各地で開催されている芸術祭の“建築”版のような文化イベントです。

初回の2025年は、広島県の福山市・尾道市にある7つの会場を中心に8つの建築にまつわる展示を2025年10月4日（土）-2025年11月30日（日）（58日間）行いました。世界的に活躍する著名建築家はもちろん、未来を担う建築家・作家まで総勢23組が出展。会期中は、建築家による講演会や、こども向けワークショップなど、多岐にわたるプログラムも開催しました。

詳細は公式サイトをご覧ください。

◎ホームページ：<https://hiroshima-architecture-exhibition.jp/>

◎SNS

※さまざまな動画をInstagramにてご紹介しています。ぜひご覧ください。



Facebook



Instagram



X

一般財団法人神原・ツネイシ文化財団について

『ひろしま国際建築祭2025』を主催する<神原・ツネイシ文化財団>は、常石グループ（広島県福山市）がさらなる地域の活性化と豊かな市民生活の実現に向け、建築文化を発信することを目的のひとつとして設立した財団です。常石グループは、海運、造船、物流、商社・エネルギー、環境、ライフ&リゾートの各事業分野で地域社会と連携しながら新たな価値創造を推進しています。また、2025年に新たに設立したグループ社会貢献推進部を通じて、地域貢献活動へのサポートを拡大しています。

神原・ツネイシ文化財団：<https://kambara-tsuneishi-foundation.jp/about/>

常石グループ：<https://www.tsuneishi-g.jp/company/>

お問い合わせ先

◎一般の方向けお問い合わせ先：

以下ホームページのお問い合わせフォームよりお問い合わせください。

『ひろしま国際建築祭2025』公式ホームページ：<https://hiroshima-architecture-exhibition.jp/>

◎報道関係者お問い合わせ先：

『ひろしま国際建築祭2025』事務局（一般財団法人神原・ツネイシ文化財団 内）

メール：pr@kambara-tsuneishi-foundation.jp（担当：守田美奈子）

画像リンク：<https://dtbn.jp/YUkTUGDe>

※画像クレジットをご明記ください。

